

年頭所感 2023年◇

内水氾濫から地域を守る 「クリーク」整備の推進

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所長 塚元 重光



新年あけましておめでとう
ございます。平素より農林水
産行政及び筑後川下流右岸農

地防災事業へのご支援とご協
力を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業所では、佐賀平野の内
水氾濫対策の要となる幹線
クリークの改修整備を進めて
います。クリークは、有明海
で干潟の発達、干拓を繰り返
しながら佐賀平野を形成する
中で、人々が洪水や干ばつと

戦ってきた歴史を物語る施設
であり、縦横無尽、血管のよ
うに張り巡らされたクリーク
は、この地域特有の農業遺産
といえます。また有明海の平
均満潮位より低い土地が多く
を占める佐賀平野では、豪雨
時に内水氾濫が起きやすい宿
命にあり、豪雨時の排水を一
時的に貯留し、干潮時に排水
樋門等から有明海に一気に排
水することを可能とする現在
のクリークは、佐賀平野の内
水氾濫対策上、不可欠な施設
となっております。幸い昨年は
大きな災害はありませんでし
たが、令和元年佐賀豪雨、令
和2年7月豪雨、令和3年8

月豪雨と毎年のように豪雨災
害が頻発する中、改めてクリ
ークが、そこに住む住民の生
活を守る、防災・減災の生命
線ともいえる重要な社会イン
フラであることを、地域社会
に再認識頂いているものと思
います。

事業では、我が国有数の軟
弱地盤である有明粘土の上に
形成された土水路や木柵主体
のクリーク水路を、地盤改良
とブロックマット敷設により
改修し、貯留機能120万㎡を
確保するとともに、クリーク
末端に設置された排水樋門か
ら601・3㎡/s、排水機
場から413・8㎡/sにも
及ぶ排水を迅速に実施できる
よう、豪雨排水の安全な流下
を維持しています。平成24年
度に事業に着手して以降、皆
様方のご協力を頂きながら、
計画総延長17.3kmに対し、
12.2kmの改修を終え、70.6
%の進捗となっております。

本年もクリークの整備推進
を通じ、佐賀平野の防災、減
災、内水氾濫対策に貢献する
ことができるよう、事業所職
員一丸となって取り組んで参
りますので、皆様方にはなお
ますようお願い申し上げます。新
年のご挨拶とさせていただきます。



新春のお慶びを 申し上げます

3つの「新しい」を実行

佐賀市長 坂井 英隆



あけましておめでとうござ
います。
市民の皆様には、希望に満

ちた新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年、3年ぶりに観客の
皆さんを会場にお迎えしてパ
ルーン大会を開催することが
でき、期間中約85万人の方に
来場いただきました。
私は、今年のテーマを「3
つの、新しい」を執行する
とし、以下のことに取り組ま
す。

1つ目は、「新しい」暮ら
し“を構想する”です。これ
は、デジタル技術など最新の
技術を活用して、市民の皆さんに、安心・安全でより快適
な「暮らし」を体感していただ
くことというものです。具体
的には、スマホで、いつでも
どこでも、欲しい情報が手に
入り、手続きができる、現在
開発中の「スーパーアプリ」
を、防災、子育て、産業など
に活用することによって、市
民の皆さんに、さらに暮らし
やすさをお届けするといつも
のです。

2つ目は、「新しい」人
“を巻き込む”です。今春、S
AGAサンライズパークに佐
賀県が整備中のSAGAアリ
ーナがオープンします。今後、
アリーナや隣接する佐賀市文
化会館一帯は、多くの人が集
まると考えられます。そこで、
サンライズパークや先日完成
した佐賀駅前広場などの集客
を中心市街地まで波及させ、
佐賀市全体の賑わいづくり
につなげたいと考えています。
また、来年の国スポ・全障ス
ポが佐賀市を全国に発信する
絶好のチャンスととらえてお
り、今年のリハーサル大会か
ら取り組みたいと考えていま
す。

3つ目は、「新しい」体験
“を創る”です。今年、既存
のものを時代に合わせてアッ
プデートするための飛躍の年
だと考えています。特に、市
立図書館や神野公園は、誰も
が気軽に、自由に楽しめる場
所として、その機能を充実さ
せるための検討を進めたいと
考えています。

さて、公共事業関連に目を
向けますと、昨年11月に、有
明海沿岸道路(大川佐賀道路)
が福岡県との県境を越えて、
ついに、諸富インターチェン
ジまで開通しました。アファ
ーコロナに向けた経済回復の
一助となる佐賀市にとって明
るいトピックスとなりました。
佐賀県の広域幹線道路ネッ
トワークの重要な路線である

2つの高規格道路、有明海沿
岸道路と佐賀唐津道路(佐賀
道路)は、現在、着実に整備
が進められており、九州佐賀
国際空港とも連携したさらな
る観光交流や物流促進への期
待が高まっています。

これらの路線について、本
市で整備を行っているアクセ
ス道路も含め、一日も早い完
成に向けて、国や県と連携・
協力しながら、整備促進に努
めたいと思います。
今年一年が皆様にとりまし
て、明るく幸多き年になりま
すことを祈念しまして、新年
のごあいさついたします。

GIコラム研究会

硬質層対応GIコラム工法(GIコラムHL工法) NETIS登録番号 QS-210035-A
GIコラム工法 NETIS登録番号 QS-100022-VE (旧番号)
GIコラム-S工法 建築技術性能証明 GBRC性能証明18-01号(改1)

飯盛土木(株)	ニチポ一建(株)	東洋産業(株)	(株) 矢野技研	(株) 綜合工業	(株) 功徳
小城重機建設(株)	祐サムシンク(株)	サナクレ一建(株)	ソイルワークス(株)	新日本グラウト工業(株)	ランドテック(株)
ベイテック(株)	テック(株)	南翔尾技建(株)	旭栄産業(株)	愛知ベース工業(株)	ナカイ建設(株)
シマウチエンジニアリング(株)	グランテック(株)	西宮本土工建(株)	コスミック(株)	西国基礎(株)	大東建設(株)
ユクタケ業(株)	小野田土木(株)	山間技建(株)	日特建設(株)	三和土質基礎(株)	良邊建設(株)
東工九州組(株)	井上土木(株)	本間技建(株)	新輝開発工(株)	アキユテック(株)	東興ジオテック(株)
ベイテック(株)	昭測量設計事務所(株)	キョクト一発(株)	ワイテック(株)	ヨシキテック(株)	新技術工営(株)
宮尾建設(株)	三信建設工業(株)	第一地研開発(株)	J.GROUND(株)	サムテック(株)	阿久津基礎(株)
松尾建設(株)	太平商工(株)	日本基礎技術(株)	エム・コーポレーション(株)	土筆工業(株)	川本鉄工所(株)
アトリエ・ジオ(株)	地下テック(株)	ジーアイ産業(株)	OSW(株)	サンベルコ(株)	ワイビーエムサービス(株)

○事務局:(株)ワイビーエムサービス 佐賀県唐津市原1297 TEL0955(77)6511 FAX0955(77)1901 <https://www.gi-column.jp/>